1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

SSKR

にじの会だより　Vol.87

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－３
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：nijinokai.org

第 18 回にじの会まつりを開催しました

10 月 28 日（土）早朝は黒い雲に覆われていましたが、開始時刻には素晴らしい秋晴れとなり、第１８回「にじの会まつり」を大沢にじの里で賑やかに開催する事ができました。引き続き感染予防の為、イベント会場と屋上の喫食スペースは入場制限を実施させて頂き、入口での検温・消毒を徹底の上での開催です。石崎理事長の開会の挨拶と河村三鷹市長から応援の言葉を頂戴した後、イベントが開始され、にじアート工房創楽と遊悠工房の一生懸命な利用者発表を皮切りに、サックス演奏グループのトランスポーターズの熱い演奏を堪能しました。午後には、よさこいのダンスチーム「RIKIOH」の華麗で元気な歌と踊りで盛り上がり、にじの会スタッフチームの歌声やダンス「みんなで歌おう」のプログラムで締めくくりました。館内でも未来工房の利用者発表や井の頭マジック、紙芝居等素敵なイベントが行われ、大変盛況に終えることができました。販売コーナーでは「にじの会後援会」の模擬店やバザー、ハーモニーのパンや食品、未来工房の和菓子や織製品のお店と新発売の来年カレンダー等、多くのお客様が買物を楽しんでいる姿を見ることができました。今年もにじの会まつりが無事に開催でき、地域の皆様、家族の皆様、利用者やスタッフの皆さん等の多くの方々のご協力に深く感謝をいたします。

（定期行事担当　羽石　敏）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

中期計画内容２「障害者の権利実現に向けた取組」―１

①利用者支援の基本「寄り添う支援」の充実

＜意思決定・社会参加支援・ICT 活用のコミュニケーション支援の充実＞

意思決定支援においてはタブレットなどのＩＣＴ機器を活用して実物だけでなく画像や動画などから選べる機会を設けています。食べ物だけでなく外出先などもスタッフと共に選びながら余暇外出の計画を立てていく事も行っています。感染症対策などの動画を共に活動で観ることでマスク装着率と正しいマスク着用にも効果が表れています。一日のスケジュールも視覚的に提示することで、見通しを持って安心して活動に参加をすることが出来ています。社会参加についても感染症対策を講じた上でレストランへの外食やキューピーの工場見学などコロナ禍であっても出来ることを見つけながら外出支援を進めています。　（時田秀明）

＜生活の質の向上（入所利用者の利用サービスの拡大）＞

制度上、施設入所支援事業（大沢にじの里）の支援サービスは、土日の余暇支援含めて、生活支援スタッフでのみ一元化されているため、グループホームのようにガイドヘルパー利用することは原則不可（全額実費負担・一部自治体では限定支給）となっています。利用者の土日の休日余暇支援通じた社会参加の機会促進を目指すために、入所施設のガイドヘルパー利用の支援サービス導入の検討について、自治体や自立支援協議会等へ、地域の生活施設としてのあり方含めて提言していきます。（新津健朗）

＜音楽・美術・運動の専門活動の充実＞

支援専門活動は自己表現と主体的参加の実現へ向け、生きがいや趣味の時間、豊かな生活の実現に向けて支援しています。運動では体育館での集団活動や個々に合わせた活動で、楽しみながらも健康維持を目指した活動を提供しています。音楽はダンスや楽器演奏、非日常を感じる音楽、そしてコミュニケーションに配慮した活動を提供しています。美術は集団での作品づくりと、個人の感性や特技が発揮される様な技法や創作活動を行っています。（田島多恵子）

②利用者・家族高齢化への対応

＜機能低下防止の取組・認知症対応の強化＞

高齢化対策プロジェクトでは工房えがおを中心に各部署で、転倒予防、姿勢の改善、認知症予防を目的に、機能低下防止プログラムを実施しています。プロジェクト会議では各部署で実践しているプログラムの進捗状況の報告と実践動画を視聴し共有しています。他工房の有効なプログラムを参考に、楽しく継続できる取り組みを考えています。さらに医療・栄養士等との連携を行い、認知症状や身体機能低下の未然防止の取り組みを実施しています。（田島多恵子）

＜高齢利用者の介護保険施設利用の推進＞

重度障害者向け居住施設のハード面の整備が、依然全国的に進んでいない現状によって、にじの会の各生活施設（入所施設・各グループホーム）の役割は今後も高まることでしょう。今後もにじの会は、高齢利用者の次なるステージに応じた施設等の移行に向け、必要な各関係機関と連携しながら、本人や家族の理解増進を含めて必要な対応を進めていきます。また、重度の障害者でも安定的な地域生活が送れるような居住整備推進の提言等も関係団体や自治体等へも発信していきます。（新津健朗）

＜高齢家族の介護保険サービス利用・後見人制度利用の推進＞

介護サービスの利用を推進する事はとても重要になります。ご家族の尊厳を保ちながら安心して生活できる環境が提供されます。これからの将来に向けてサービスの利用について相談していきます。また、後見人制度を活用する事で、将来への不安軽減やいろいろな課題に対するための

鍵となります。この制度は、個人の意思や権利を守りながら自己決定のサポートや法的な安全網を提供する事が出来ます。（山下典孝）

③重度障害者増加への対応

＜生活介護事業所の増設への取組＞

現在にじの会の生活介護事業所は、大沢にじの里とにじアートがあります。２つの事業所の利用者の新規利用希望が多くあります。施設の活動場所が限られているため、新しい施設の増設のニーズは高まっています。将来的な地域と利用者ニーズを把握しながら自治体とも連携し、開設に向けた具体的な検討と準備を行って行きます。

今を楽しく、健康的に充実して過ごせるように、どんな施設でどんな活動を実施できるかを将来に向けて考えていけるように、現在の施設での課題を克服し日々改善して取り組んでいます。

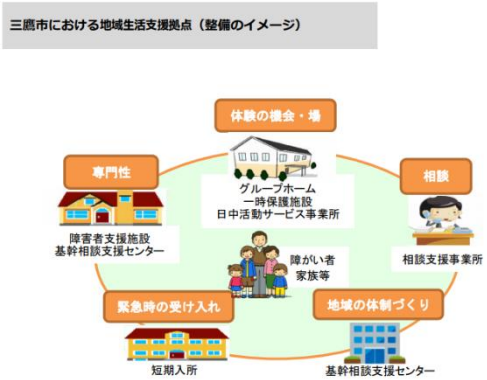
＜強度行動障害者支援力の増強＞

強度行動障害を伴うなどの支援難度の高い方でも、安心して地域生活や自分らしさを発揮した活動参加が出来るように、職員自身の支援技術向上ための、様々な研鑽を重ねていきます。

寄り添う支援を基本として、障害特性のアセスメントをもとに、本人の強みを生かし、本人を中心に見通しの支援や環境の調整、自立の支援等に取り組み、強度行動障害として現れていた行為等が緩和されるように取り組んでいます。特にコミュニケーションにおいては、ICT の技術を活用して支援しています。PC タブレットをグループ毎に設置、朝の情報や食事の選択、余暇の選択などに視覚的にわかりやすい伝達の方法を研究して実践をしています。（新津健朗）

④自治体の障害者施策への対応

国並びに各自治体の施策である、障害者の重度化や高齢化を見据えた居住支援のための機能や支援体制整備を目的とした「地域生活支援拠点事業」に、にじの会では「相談支援事業」と「短期入所事業」のふたつの事業機能の参画（三鷹市）を予定しています。



＜地域生活支援拠点事業＞

地域生活支援拠点とは、障がい者の重度化や高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住生活支援のための機能をもつ地域体制のことです。居住支援のための主な機能は以下の通りです。

①相談機能の拡充	基幹相談支援センターと各相談支援事業との連携、コーディネート
②緊急時の受入れ・対応	短期入所を活用した緊急時の受入れ支援体制の確保
③体験の機会の場の提供	グループホームや一人暮らしなどの体験の機会の場の提供
④専門的人材の確保	様々な障害分野に対応出来る為の専門的人材の体制の確保や養成
⑤地域の体制づくり	各相談事業者等相互の相談体制確保と地域特性活かした社会資源活用

三鷹市を始め殆どの自治体では、面的整備型と称し（図１参照）、地域の複数の事業所が地域生活支援拠点等の機能を担い、その地域全体で「重度化・高齢化した障がい児者を地域で支援できるようにすること」、「障がい児・者とその家族の緊急事態に迅速に対応できること」に対応する形をとっています。その中で、にじの会は、「短期入所」「相談支援」の２つの事業において、この地域生活支援拠点事業における必要な対応を進めていくことを予定しています。

（新津健朗）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

日帰り旅行の報告

＜9 月 22 日　日帰り旅行＞

旅行先：山梨県「御坂農園」　　内容：ぶどう狩り　天候：晴れ

【昼食：ほうとう料理】麺の形が面白い、かぼちゃが入っている、味噌味？など楽しい会話を交えながらの食事。農園の景色と食事で気持ちもお腹も満たされました。

【ぶどう狩り】皆さん、大きな房（粒）のぶどうを美味しそうに召し上がりました。ぶどう狩りの後、売店でお土産を購入する時間もとても楽しんでいました。（佐藤智観）

＜9 月 29 日　日帰り旅行＞

旅行先：山梨県「御坂農園」　　内容：ぶどう狩り

晴天に恵まれましたが気温が高かった為、熱中症に配慮し水分補給をしながら旅行を楽しみました。昼食のほうとう料理を食べた後、数分歩いた農園でぶどう狩り。その後はお土産を選んだりソフトクリームを食べたりとゆったり過ごしました。　（中嶋みゆき）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

第 86 回施設家族連絡会の報告

9 月 17 日（日）午後 2 時より三鷹産業プラザにおいて第 86 回施設家族連絡会を開催いたしました。当日は 56 名のご家族の参加があり、皆様久しぶりの再会を楽しまれ、和やかな雰囲気の中で進行することが出来ました。

『全体会』においては、2023 年度上期の事業運営報告、「2030 年のにじの会のあり方」の説明、にじの会生活支援施設利用希望申込スケジュールの説明、下期の事業予定の説明、第三者評価家族アンケートの説明、にじの会後援会からの活動報告を行いました。特に、「2030 年のにじの会のあり方」はこれからのにじの会が目指す方向性を SDGs の視点を取り入れてまとめたもので、経営理念に基づく具体的な経営目標とそれぞれの具体的取組みをご説明し、皆様には熱心にお聞きいただきました。

全体会終了後、大沢にじの里入所利用者ご家族と各ホーム利用者ご家族合計 40 名様との『生活懇談会』を行い、各部署責任者から支援体制、上期の状況報告、今後の予定等をご説明し、質疑応答、様々な情報の共有が行われました。

にじの会ではご家族との連携を密に行い、ご利用者の支援を行うことを基本方針としてすべての施設を運営しております。今後もご家族の皆様のご協力をいただきながら“寄り添う支援“を継続して参ります。（橘　純一）

第 4 回にじアートまつりの報告

10 月 13 日(金)の 13:00～14:30 の時間で「第 4 回にじアートまつり」を 4 年ぶりに開催致しました。内容はわっしー工房で美術体験、みのり工房で音楽体験、工房創楽でボッチャ、遊悠工房で美術体験を実施しました。来場者はご家族が中心ではありましたが、コロナ禍で日中参観が無い年が続いた中で久し振りに活動の様子を生で見られる良い機会になったのではと思われます。当日はインフルエンザの流行で通所できる入所利用者が限られてしまいましたが、清原前三鷹市長も見え、ご家族の皆さんを含めて良い交流の機会となりました。

１Ｆではハーモニーの出張販売も行われ、来場した方々が思い思いに買い物をされ、無事に完売となっていました。

今後も地域の方との交流する機会を設けて、地域にある施設の役割としての地域発信を進めていきたいと思います。　（時田秀明）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

7 月 17 日安全大会の報告

＜大沢にじの里＞

にじの会では自転車通勤のスタッフが多数います。各社用車のドライブレコーダーから集めたヒヤリはっと映像は、自転車通勤時の安全意識をより高めてくれました。また業務で運転を行うスタッフにとっては、自転車の動きを予測する危険予知の良い経験になりました。

防災関連では昼食前後の非常食準備と試食を行いました。各フロア居住の方の食事分もあったので、各スタッフがチームに分かれて 50 食前後の食事を手際よく準備していました。非常食も“災害時こそ楽しめる食事”のコンセプトでメニューも増えて、おいしく食べることができました。災害時の睡眠とプライバシーを確保する段ボールベッド・パーテーションは三鷹市から支給された軽量・コンパクトで簡易な設置方法のもので、実際にベッドに横になったスタッフからも好評でした。またそのような災害備蓄品を搬出する防災倉庫、貯水タンクから直接水を抽出する方法などを各スタッフで確認しました。その後のグループワークで各スタッフがイメージした“災害時の課題”を話し合ってもらい、さらなる防災意識の向上が図れました。（花井瑞明）

＜にじアート＞

午前中は安全運転講習で自転車を安全に運転が出来るように道路交通法などを織り交ぜてイラストなどで分かりやすく学ぶことが出来ました。動画では実際の事故の映像などを見ながら参加者も当事者意識を持って安全運転の重要性を感じ取っていました。防災のところではＡＥＤ訓練を実施しました。訓練でも緊張感を持ちながら適切な心臓マッサージとＡＥＤ操作を行いました。非常食を実際に食べる訓練でも以前のマジックライスと鯖缶だけではなくおでんや豚汁、デザートなどの非常食を食べ、非常食の進化と美味しさに驚きました。午後は机上訓練で実際に災害があった際にどのように動くのかイメージをしながらＢＣＰ訓練を実施しました。他にも福祉避難所で使用する段ボールベッドとパーテーションを実際に組み立てました。段ボールベッドは非常に組み立てやすく協力しあいながら組み立てて実際に寝るなどして使用感の確認を行いました。　（時田秀明）

＜ワークショップハーモニー＞

午前中の安全運転講習の後は「事故報告検討」ということで初めて全員で「異物混入防止」について話し合いを行いました。チェック体制を整えることはもちろんのこと、スポンジなどの調理器具を見直し、ハーモニーとガーデン全体で異物混入に繋がらない共通した物を使っていくこととなりました。食品を販売・提供する事業者として、より一層衛生管理に努めていきたいと思います。

防災倉庫の確認

午後のテーマ「防災」に関して、非常食は日頃食品を扱っていることもありスムーズに準備することができました。初めて行ったこととして、新しく導入した太陽光発電専用のコンセントの設置場所について館内を歩きながら見て確認し、こちらも新しく設置した防災倉庫の中の備蓄品を確認しました。また、福祉避難所として安心して活用できるようにするための安否確認や連絡方法等の課題について、様々な意見があがりました。

いつ災害が起きても自分がやるべきことができるようしっかりと具体的な準備を進めていきたいと思います。（諏訪　拓）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

8 月 11 日人権擁護研修の報告

＜大沢にじの里＞

人権擁護意識の向上に向け、３つのテーマについて動画視聴、グループワークを中心に研修を行ないました。「虐待防止」については、日頃から虐待防止マニュアルの読み合わせやマニュアルチェックを定期的に行なっている為、虐待に敏感な空気感が定着してきているのを感じました。「尊厳」については解釈に時間を要しましたが、一人ひとりが意見を出し合ううちに、誰もが大切に扱われるべき存在であるということを改めて認識する事ができました。「寄り添う支援」では、「支援に長く携わっている人ほど、自分の支援が正しいと思い込みがち」という率直な意見も聞かれ、日頃の支援を振り返る機会を与えられました。若い職員からも積極的に意見が出され、有意義な研修となりました。　　（佐々木百紀美）

＜にじアート＞

冒頭に、にじの会虐待防止マニュアルチェックと全社協の虐待防止チェックのスタッフからのコメント内容などを動画視聴し、グループワークで動画の感想や虐待を発生させないために意識すべきことなどを話し合いました。また、「尊厳」についても動画視聴とグループワークを行いました。尊厳と聞くと難しいイメージがありましたが話し合いをするなかで極めて当たり前で利用者だけでなく自身や他者へも互いを認め合って尊重していくことの重要性を感じました。

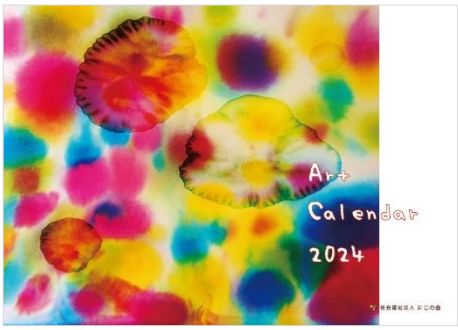
午後は女性活躍に向けたグループワークを行い、女性が働きやすい職場作りについて意見交換を行いました。にじの会の 10 周年記念ＤＶＤを視聴し、今までのにじの会の歩みとこれからの課題やニーズについて学びました。　　（時田秀明）

＜ワークショップハーモニー＞

午前中は比企理事にも参加して頂き意見交換を行いました。「尊厳」について「利用者さんはご家族や支援者の意見に左右されやすい傾向があるため、ご家族ともこのテーマで話し合いをしてみたい。」という意見もあがりました。寄り添う支援では「チームとしての達成感」「利用者の幸福感」というキーワードが印象に残りました。

午後は未来工房スタッフにハーモニーに移動してもらい、初めて合同で研修を実施しました。「働くということ」「利用者への声かけ」「女性活躍」について意見交換を行い、それぞれの事業や立場の違いについてお互いを知る一歩となりました。今後も連携を深め、支援に活かしていきたいと思います。　　（諏訪　拓）

＜にじの会アートカレンダー2024 の案内＞



にじの会利用者の作品を掲載した、2024 年版カレンダーを作成いたしました。今回は大沢にじの里・工房すばるのメンバーによる共同制作が表紙を飾ります。例年と同様、折り畳んだ状態で A4 サイズ (29.7×21.0cm)、スケジュール書込み用の罫線が入った実用性も備えた一品です。ご使用後は作品集としてお楽しみいただけます。販売価格は、一冊 1,050 円、にじの会ショップ(オーソレミオ、ハーモニーガーデン、ハーモニー)で、10 月 30 日(月)より販売を開始いたします。ご家族・ご友人への贈りものにもおすすめの一品です。

なお、郵送にて購入をご希望の方は、配送料や振込手数料をご負担いただく形となりますが、住所・電話番号・氏名・購入冊数をご記入の上、〒181-0015 三鷹市大沢 1-1-43 社会福祉法人にじの会 ワークショップハーモニー 清水・伊藤（TEL 0422–26–8620 / FAX0422-30-2021）までお申し込み下さいますようお願いいたします。　　（支援専門・美術 臼井絵子）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2023 年 10 月 8 日発行　　SSKR 通巻第 9886 号

社会福祉法人

にじの会 2023 冬 ギフトカタログ

抹茶マフィン＆クッキー3種
＆栗蒸し羊羹セット
商品番号 ０１ 3,020円
冷蔵

こだわり府中たまご豆乳プリン
＆クッキー3種
＆フルーツマフィンセット
商品番号 ０２ 2,850円
冷蔵

マフィン２本＆クッキー3種
セット
商品番号 ０３ 2,980円

こだわり府中たまご
豆乳プリンセット
冷蔵
商品番号 ０４ 1,810円
商品番号 ０５ 2,330円
商品番号 ０６ 2,850円

おまかせスモーク６種セット
商品番号 ０７ 3,800円
冷蔵

おまかせスモーク５種
＆マフィンセット
商品番号 ０８ 4,050円
冷蔵

おまかせスモーク特選セット
商品番号 ０９ 5,050円
冷蔵

多摩のおみやげおまかせ
セット
商品番号 １０ 1,900円
冷蔵

冬季限定！
クリスマスギフト

左記の「クリスマスギフト」の「ご注文」は12／8（金）まで、
「発送」は11／21（火）からとさせて頂きます。

自家製骨付きもも肉のスモーク
＆クリスマスシュトーレン
セット
冷蔵
商品番号 １１ 3,280円

クリスマスシュトーレン
＆フルーツマフィンセット
商品番号 １２ 2,950円

ご注文方法やカタログの詳細につきましては、「にじの会」ホームページ
harmonygarden. Jp をご覧頂くか、下記までお問い合わせ下さい。
《お問い合わせ先》
ワークショップハーモニー　三鷹市大沢 1-1-43
TEL 0422-26-8620　FAX 0422-30-2021　担当：伊藤

ハーモニーオンラインショップ
こちらのQRコードからも購入可能です

『にじの会だより 87 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611　FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412